

週報



No.01316 2021.10.25 第11例会

◆本日のプログラム

10月25日(月)
クラブフォーラム
「職業奉仕表彰」
職業奉仕委員会
委員長 久松 哲生 会員

◆次回のプログラム

11月1日(月)
「未定」
服匠 深井
代表者 深井 豊久様
(岡山後楽園RC)



SERVE TO CHANGE LIVES

2021～2022年度国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

地区のスローガン 「未来のロータリーを築こう」

クラブのスローガン 「命の大切さを知り、奉仕できる幸せ」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288
E-mail : hokusei@ok6rc.jp <http://okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail : jimu@kyotosuzakurc.com

◆理事・役員(2021.7～2022.6)

会 長	岡 本 浩 三
副 会 長	末 吉 賢 多
幹 事	日 笠 伸 之
副 幹 事	小 林 龍 平
理事・S.A.A.	福 元 裕 之
副 S.A.A.	奥 田 詠 子
会 計	鈴 木 一 生
理事・職業奉仕	久 松 哲 生
理事・社会奉仕	原 全 伸
理事・国際奉仕	橘 高 正 剛
理事・青少年奉仕	嶋 井 利 典
理事・会員増強	笠 原 英 司
理事・プログラム	横 山 俊 彦
理事・親睦活動	藤 木 希 実 子
理事・ロータリー財団	小 松 忠 男
直 前 会 長	平 松 信
次 期 会 長	嶋 井 利 典

外部卓話 「あした彩の活動報告と人形劇について」

○あした彩の活動報告 「あした彩」代表 米本 有紗 様(岡山商科大学法学部4年)
 今日は貴重なお時間をいただき、現在のあした彩の活動状況と来年2月20日に予定をしております創立30周年記念事業として賛同いただきましたオンラインイベントの開催に対し、直接感謝の気持ちをお伝えさせていただきたいと思っております。



最初に一昨年のお大阪WILL、京都産業大学での研修会へのバス代の支援から始まり、昨年は、新型コロナウイルスの影響で、あした彩としての活動ができない中、勉強会や研修会場の手配、被害者支援を考える教材となる映画のチケットやDVDの寄贈、今年2月には卒業イベントを兼ねた合同勉強会を開催していただくなど、それまで経済的な理由から限られた活動を強いられていた先輩たちが羨むようなご支援をいただいていることに心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。



現在の活動状況ですが、今年も春からコロナの影響で、学校間の連携活動がまったく計画できない状況のまま半年が過ぎてしまいました。それでも去年と大きく違うのはコロナの終息が見えない中、5月にはこの秋に予定していたオンラインイベントの開催も危ういのではと計画を見直し「コロナ禍でもできる活動を」と、「オンラインによる他県の学生団体との交流会」に変更することにご理解をいただいたことです。

7月には岡本会長にも出席をいただいた、あした彩リーダー会議で、昨年はできなかったあした彩の活動と、今年の集大成を兼ね、オンラインイベントの開催を周知し、全員で情報を共有しました。その後、実行委員会を立ち上げ、オンラインで何度も打ち合わせを重ね、企画書を完成させました。また10月1日には、まん延防止等重点措置も解除され、行動制限も緩和したので、これから創立30周年記念事業の名に相応しいイベントになるよう取り組んでいきます。

私たちの大きな悩みの1つに「犯罪被害者支援」「遺族講演」といった言葉の響きからか、お声がけしても「なんか暗い話だろう」とか「私には関係ない」と言って敬遠されてしまいます。『そんなことはないのに…』とすぐ歯がゆい思いをすることがあります。どうか2022年2月20日、岡山北西ロータリークラブ創立30周年記念事業「犯罪被害者支援オンライン交流会」の会場に足を運んでいただき、私たちの被害者支援に真摯に取り組む姿を見ていただきたいです。

そして「被害者にも加害者にもならない、安心安全な社会の実現」に力をお貸しください。よろしくお願ひ致します。

○オンライン交流会について 「あした彩」商大サークル 横山 英寿 様(岡山商科大学法学部2年)
 これから2月20日に無事開催できるよう、具体的に準備を行っていく予定です。そして、本格的に準備を進めていく過程で、イベントがより良い形になるよう企画案を変更する場合もあるかと思っております。どうぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。



また、11月14日にはリハーサルを兼ねて「勉強会」を開催いたします。ご都合があれば、ぜひ、ご参加いただけますよう重ねてお願ひ申し上げます。

このイベントを、コロナで思うように動けなかった去年、今年の集大成とし、何としてでも良いものにし、次の世代につなげていきたいと思っております。また、あした彩の活動も全国に伝え、少しでもどなたかの心を動かすことができれば幸いです。よろしくお願いいたします。



○人形劇について 「あした彩」人形劇リーダー 山本 美有 様(ノートルダム清心女子大学文学部4年)
 現在、ノートルダム清心女子大学の学生を中心に、「あした彩」に所属している様々な大学の学生が月1～2回のペースで集まり、人形劇の作成に取り組んでいます。人形劇作成のきっかけは、昨年の8月に西大寺公民館で秋田さんをお招きして、講演会を行ったことです。この講演会を通して、「命の大切さ」「加害者にも被害者にもならないこと」そして「運転に不安を覚えたら思い切って免許返納をする重要性」を伝えました。



その結果、聴講者の方から「講演会の内容が心に響きました。若い人たちが活動に取り組む姿を見て元気ができました」「とても勉強になりました」とお言葉を頂くことができました。そして、講演をされた秋田さんのご経験を形

として残したいという想いから、人形劇の作成が始まりました。

始めに、ノートルダム清心女子大学の学生を中心にシナリオ作成をしました。完成したシナリオの内容を秋田さんに確認を取り、いよいよ人形劇を形にしていきます。集まったその時々で人形劇の下描き、色塗り、劇中のBGMや効果音探しなど担当を決め、取り組んでいます。秋田さんに娘さんの制服の写真を提供していただきその通りに再現したり、秋田さんに当時の服装や娘さんの表情などを伺って、イメージと違ったらその度に修正を行うなど、なるべく秋田さんのご要望を汲み取るよう心掛けて作成しています。また、人形は一人がすべて描くのではなく、何人かで手分けをして描いているので、人形の絵柄はそれぞれ個性があります。色々な絵柄があることによって、多くの人の手によって作られた人形劇であることが伝わると考えています。そして、人形劇を通して、「命の大切さ・家族や友人、仲間の大切さ」に気付いていただきたいという想いを込めて作っています。

緊急事態宣言など集まるのが難しい時期が重なり、当初の完成予定より遅れている状況ですが、現在は来年2月のオンラインイベントで人形劇を披露することを目指して、あした彩で一丸となって完成に向けて取り組んでいます。まだ劇の練習を行う必要があり、細かい部分で話し合いを進めていかなければならないなど課題はありますが、あした彩のみなんで協力して乗り越えていきたいと考えています。ロータリークラブの皆様には、これからも活動を温かく見守っていただければ幸いです。



前回10月18日の例会記録

出席の状況

会員数 45名(内出席免除者 0名) 出席者数 37名
欠席者数 8名 出席率 82.22%
欠席者 橘高, 小菅, 三宅, 森本, 奥田, 鈴木, 田原, 氏房

会長報告

「ロータリーソング 奉仕の理想について」 会長 岡本浩三

今日は、毎例会でみなさんと歌っている「奉仕の理想」について少し話をさせていただきます。例会の時に歌を歌う慣習は1907年、今から114年前、シカゴRCで始められたとされています。当時、「親睦か、奉仕か」で論争されギスギスした会の雰囲気や和らげようと、5人目の会員ハリ・ラグルス氏が音頭をとって歌いだしたのが始まりということです。日本版としては、1935年(昭和10年)5月の第70地区大会を記念して募集され4作品が当選され検討の結果、現在の「奉仕の理想」が1位となりましたが、現在も賛否意見のあるのが、「御国に捧げん」という一行です。いまはほとんど死語になった感のある言葉に多少の違和感を覚える方も多ようです。実はこの曲を作詩した、京都RCの前田和一郎さんの原詩は御国ではなく、世界に捧げんだったようですが、当時のガバナー村田省蔵氏は、国粹主義的な考えの方だったようで、譲らなかったという経緯があり、前田氏は亡くなる前、遺言として「いつの日にか出来るなら、元の世界に戻していただければありがたい」と言われたそうです。



それほど思い入れをされ作ったこの歌の歴史は、いまとなっては当時の論争は、知る由もありません。昭和10年は、日本が世界から孤立化する状況にあり、5年後には国際RCを脱退するというロータリーにとっては、苦難の時代であり、言葉一つに神経を使った結果出来上がった「奉仕の理想」であり、この歌の歴史を尊重する事も、大事な事とも思います。21世紀に活動する現在のRCは、世界でも地域でも社会でも自由に置き換えて歌ってもよいとする意見がいまでもあるようです。考えてみますと、御国という語句はRCの品格を表すものと捉える意見もあり、実際私も初めて入会し、この「奉仕の理想」を歌った時、ロータリーのきちんとした佇まいに触れたようで、背筋を伸ばした覚えがあります。また、言葉に馴染まない若い世代もあり難しい問題でもあります。皆さんはどう思われますか。

幹事報告

幹事 日笠伸之



- ① 本日の卓話の資料、社会奉仕委員会活動報告、を配付しております。
- ② 10月24日(日)、とりぎん文化会館で開催される地区大会にご参加の皆様には、当日のご案内及び名札、ヘルスチェックシートなど配付しておりますので、よろしく願いいたします。また本会議は YouTube 配信されますので、後程皆様にご案内をお送りいたします。
- ③ 「ロータリー日本 100 年史」頒布促進のお願いが届いておりますので回覧いたします。注文される方は、ロータリーの友事務所HPよりお申込みください。
- ④ 日本経済新聞社「10月22日(金)朝刊全国版」に一面でロータリーの広告が掲載されるとのお知らせがありましたので回覧いたします。
- ⑤ 岡山東RC主催、岡山後楽園で開催される「園遊会」のご案内チラシを回覧いたします。
- ⑥ 本日例会終了後13:30から「第1回指名委員会」を開催いたしますので、指名委員会メンバーの皆様はご出席ください。会場を3Fでご案内しておりましたが、4F「董の間」に変更になりました。
- ⑦ 本日18:30から3F「パールの間」において「第1回 IDM」を開催いたしますので、出席予定の皆様はよろしく願いいたします。
- ⑧ ハイライトよねやまVol.259、他クラブ週報を回覧いたします。

スマイル報告

ひな壇一同：「あした彩」の代表の学生の皆さん、ようこそいらっしゃいました。多くの学生の皆さんを、まとめて実のある行動を願って応援いたします。

堀川会員：川本会員、相続の本をいただきました。仕事の参考にさせていただきます。
岡本会長、備前RC訪問ご苦労様でした。

平松会員：相続に関するわかりやすい解説本をいただきました。川本洋会員に厚く御礼申し上げます。
本日の外部卓話をしていただきます米本有紗様、山本美有様、横山英寿様に感謝申し上げます。
また18時30分からの第1回IDMの開催をよろしくお願いいたします。

原 会員：川本さん、本のプレゼントありがとうございました。とてもわかりやすく解説されていて、勉強になります。
今日は「あした彩」から3人の学生にお越しいただき、オンラインイベントと人形劇の紹介をしてもらいます。緊張していると思うので優しい眼差しで迎えてあげてください。

木本会員：昨日曜日、ちょっと良いことがありました。
藤木さん紙芝居拝見いたしました。素晴らしい才能(You Tube 紙芝居 藤木希実子で検索してみてください)

樋口会員：昨日、児島100キロマラソン走ってきました。コロナで大会が少ない今、行ってくれる大会ありがたいです。楽しく一日過ごせました。タイムは14時間とまあまあです。

クラブ情報

6件24,000円(累計381,980円)

社会奉仕委員会

社会奉仕委員長 原 全 伸

9月度の社会奉仕委員会の活動報告書を配布していますのでご一読ください。

なお、オンラインイベントの企画書の件ですが、学生からの説明にもありましたように、準備を進めていく過程において、より良いイベントになるようなアイデアが出たら企画書の内容に縛られることなく変更される場合がありますので理解してあげてください。

なお、リハーサルを兼ねたグループワークの勉強会を11月14日(日)14:00~17:00の予定で環太平洋大学にて開催します。詳しくは、後日改めてご案内いたします。

例会情報

本日のメニュー (10月25日)

アトランティックサーモンの軽い燻製 茄子のコンディマン
国産牛肉のビール煮 スイユ添え
林檎とキャラメルシブースト 柚子の香り パン コーヒー

次回のメニュー (11月1日)

(未定)



前回メニュー(10月18日)：
黒毛和牛鰻鑄込み蒲焼仕立て